

2024年3月期決算説明資料

2024年5月

株式会社ゼネテック

証券コード：4492



目次

- ① 2024年3月期 ハイライト
- ② 2024年3月期 決算概要
- ③ 2025年3月期 業績予想および株主還元
- ④ 中期経営計画の進捗状況
- ⑤ トピックス
- ⑥ Appendix

2024年3月期 ハイライト

2024年3月期 ハイライト

2024年3月期
決算ポイント

売上高、利益とも過去最高
業績予想上方修正 & 増配

売上高 **7,147百万円** 前期比 **12.8億円、21.9%増**

営業利益 **629百万円** 過去最高 前期比 **523百万円増**

期末配当 **6円50銭⇒14円50銭に増配 (8円増配)**

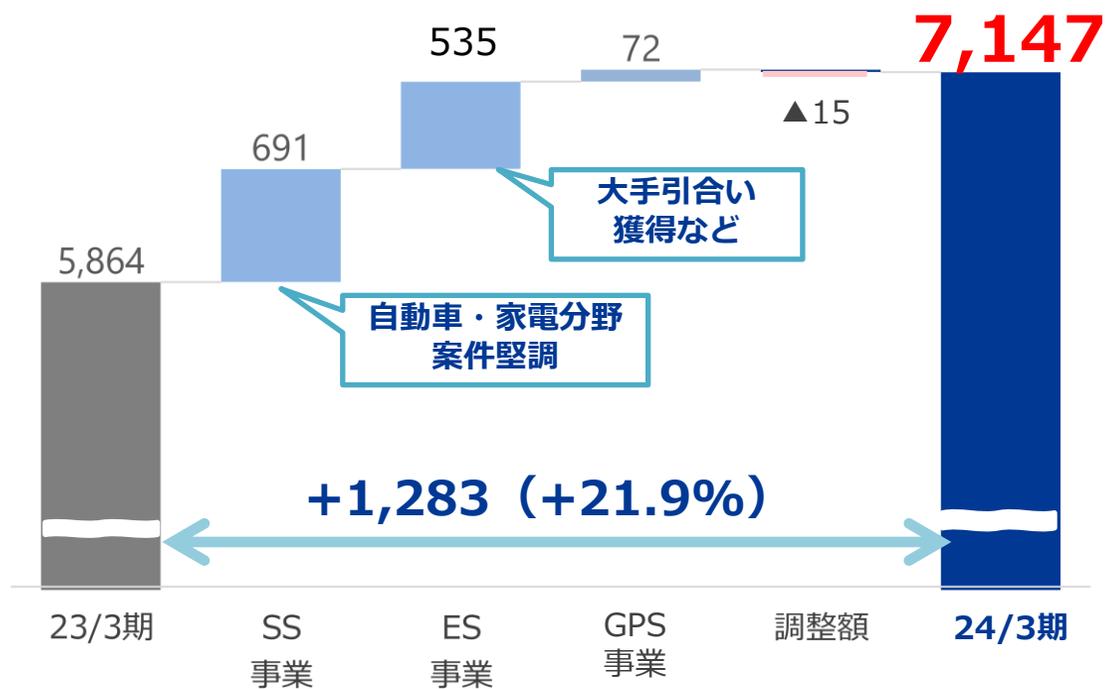
2024年3月期 決算概要

2024年3月期 決算概要

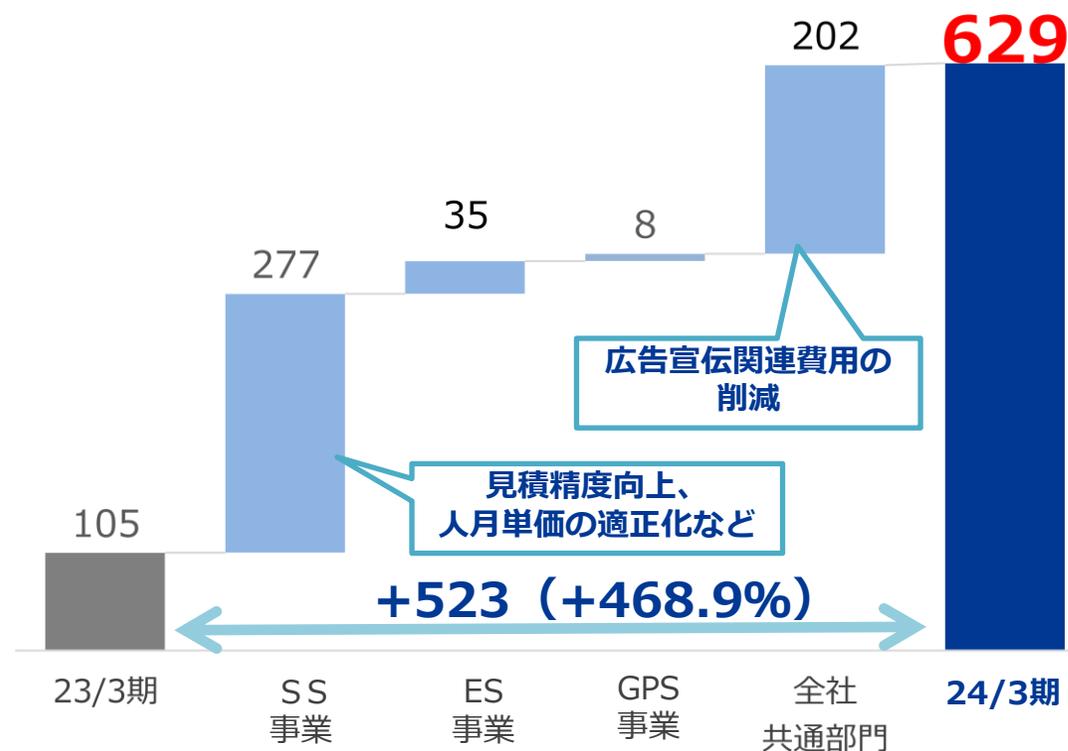
(百万円)	23年3月期 実績	構成比	24年3月期 実績	構成比	前期比 (%)
売上高	5,864	100.0%	7,147	100.0%	+1,283 +21.9 %
売上総利益	2,317	39.5%	2,908	40.7%	+591 +25.5 %
営業利益	105	1.8%	629	8.8%	+523 +494.5 %
経常利益	111	1.9%	635	8.9%	+523 +468.9 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	0.4%	414	5.8%	+391 —

売上高、営業利益の増減要因（前期比較）

売上高 (百万円)



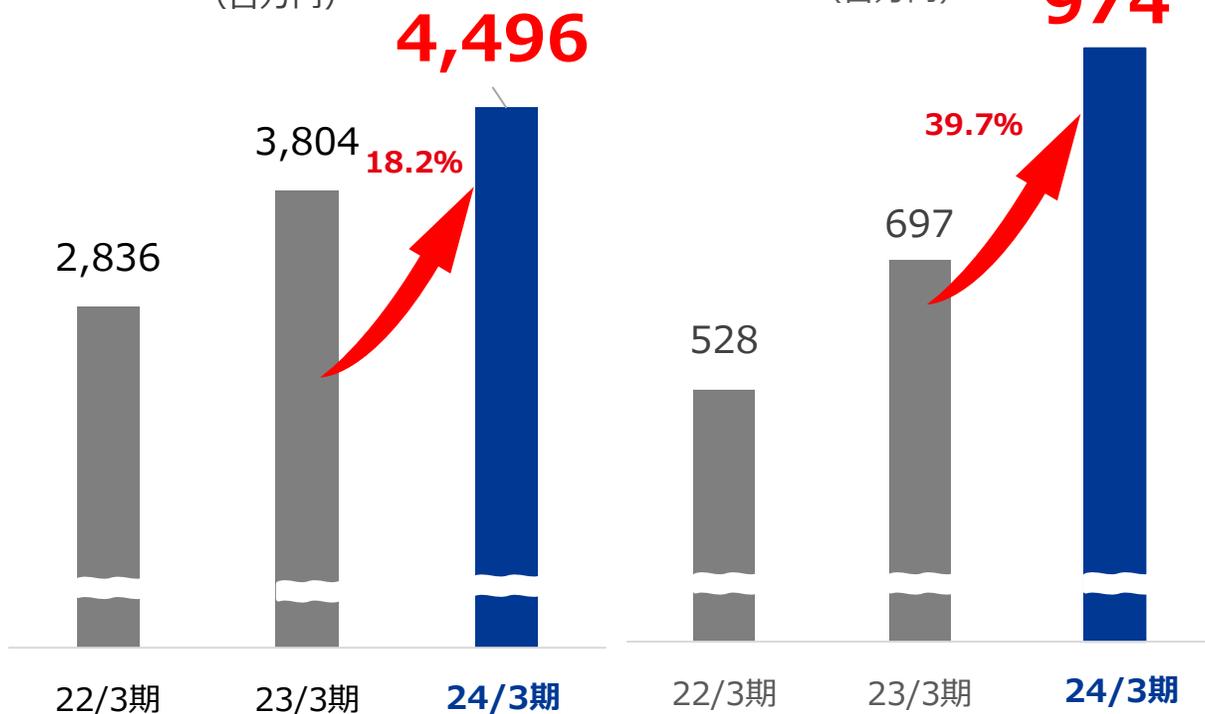
営業利益 (百万円)



システムソリューション事業

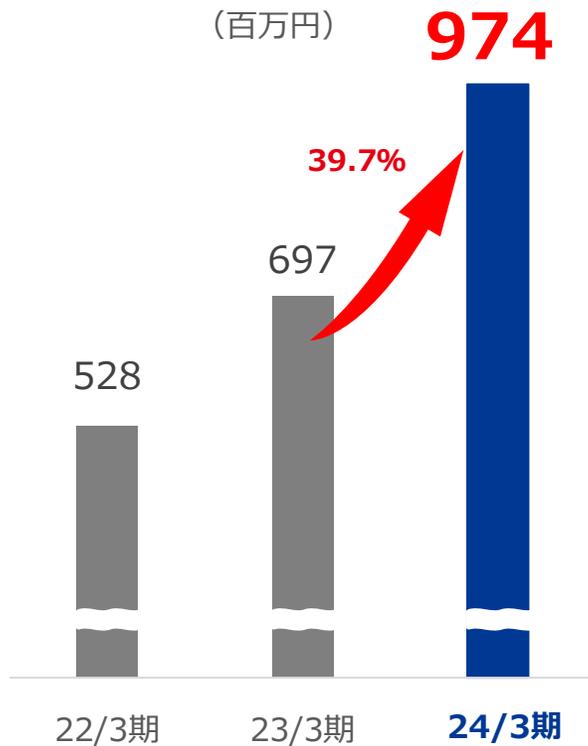
売上高

(百万円)



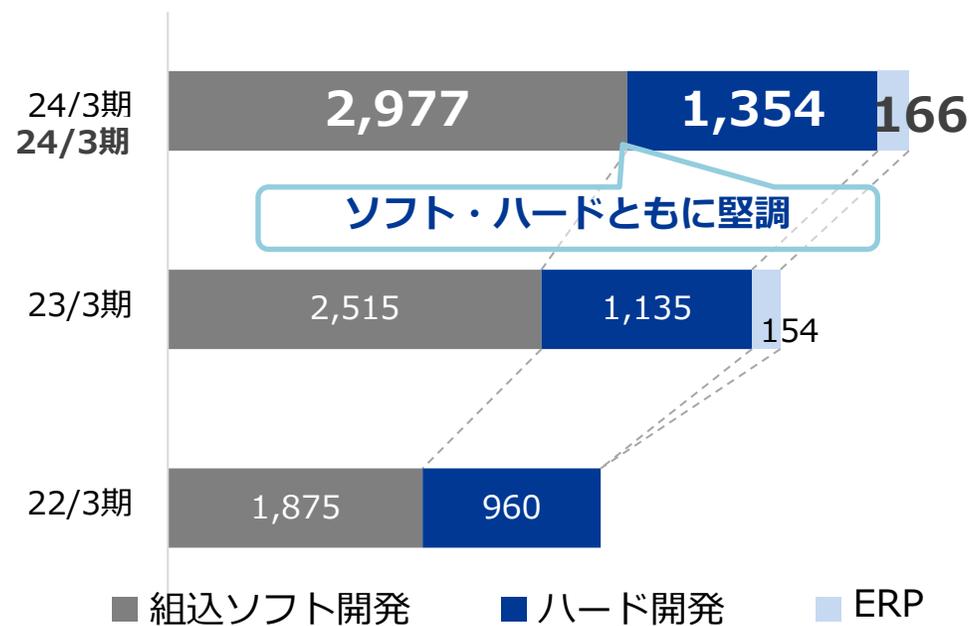
セグメント利益

(百万円)



売上高：分野別推移

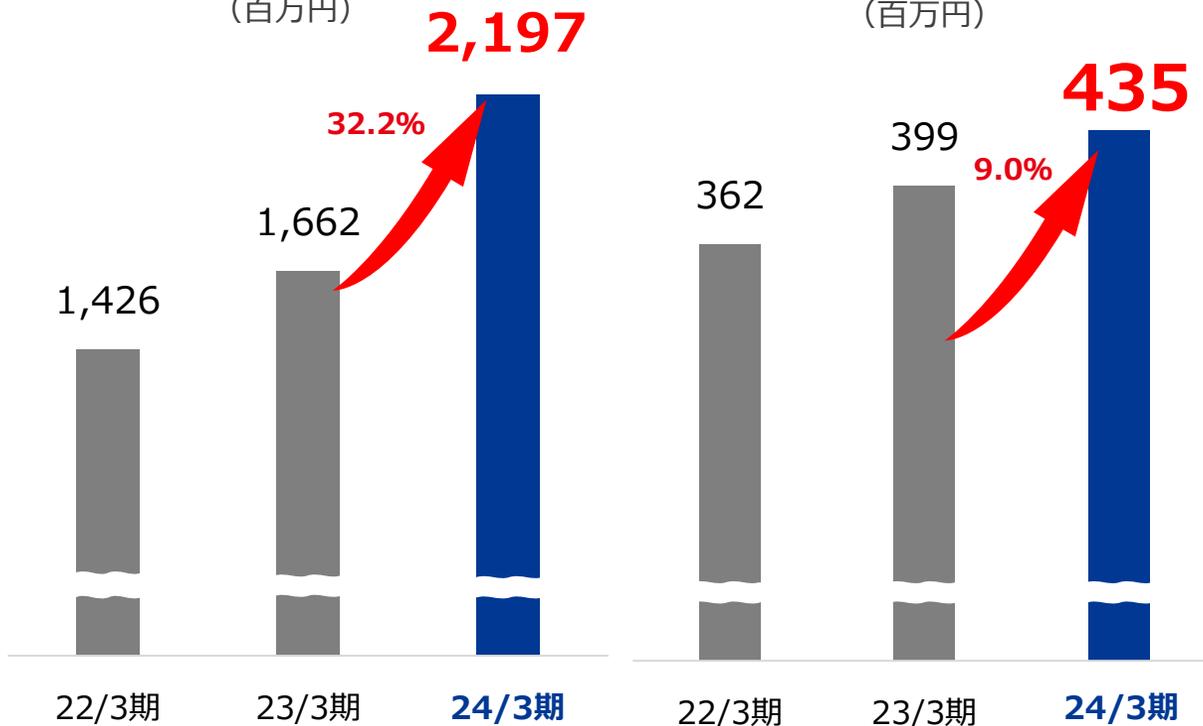
(百万円)



エンジニアリングソリューション事業

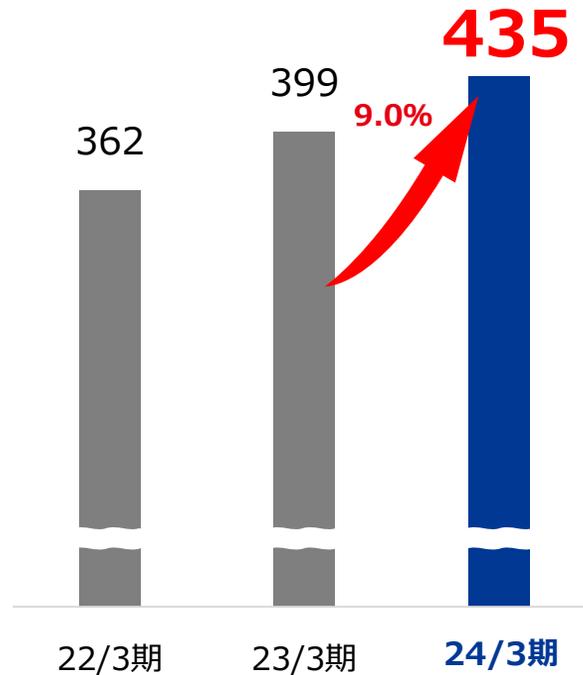
売上高

(百万円)



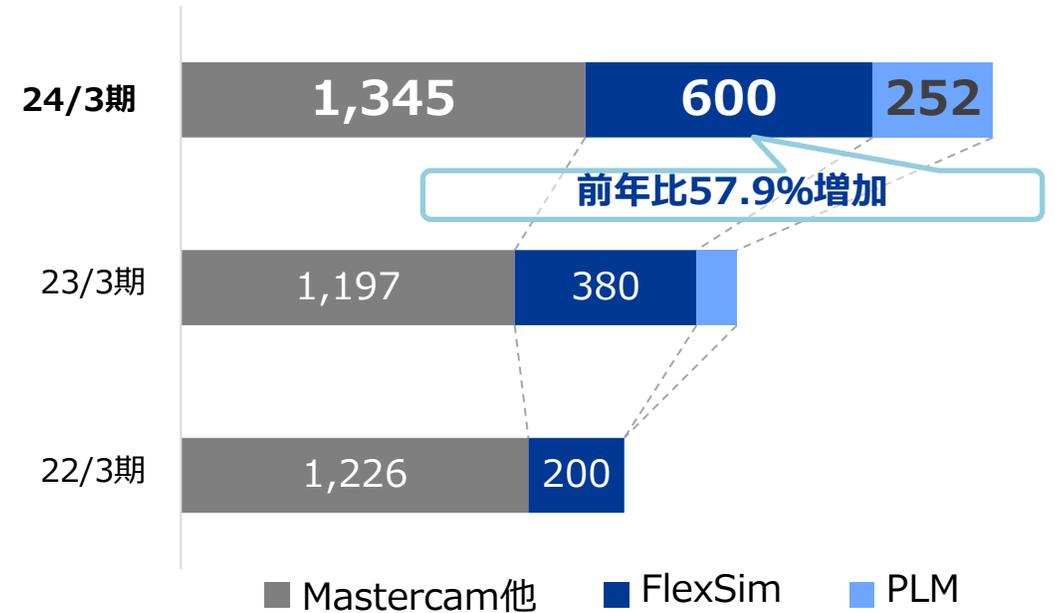
セグメント利益

(百万円)



売上高：分野別推移

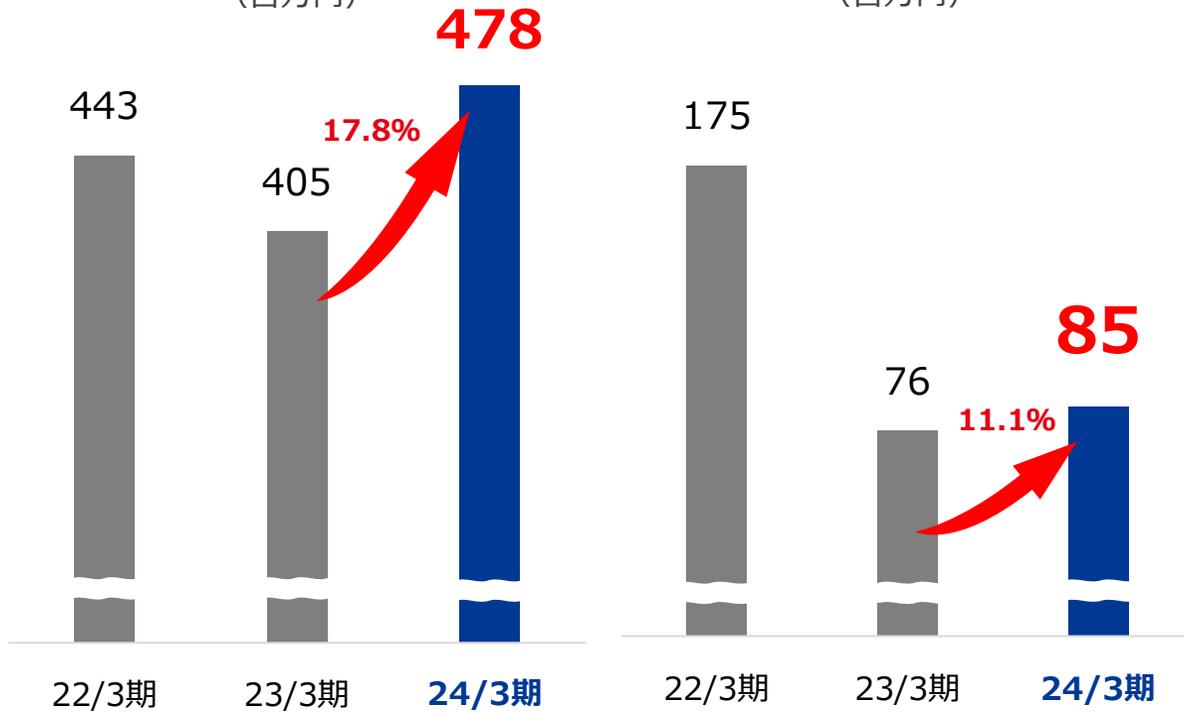
(百万円)



GPS事業

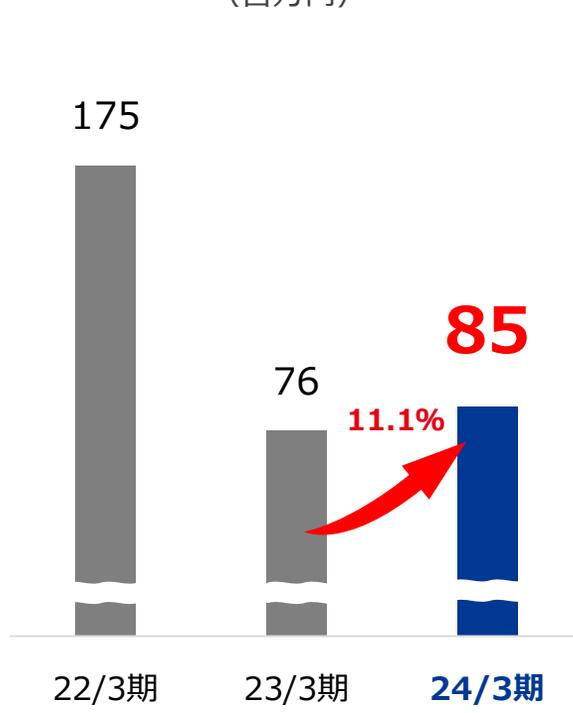
売上高

(百万円)



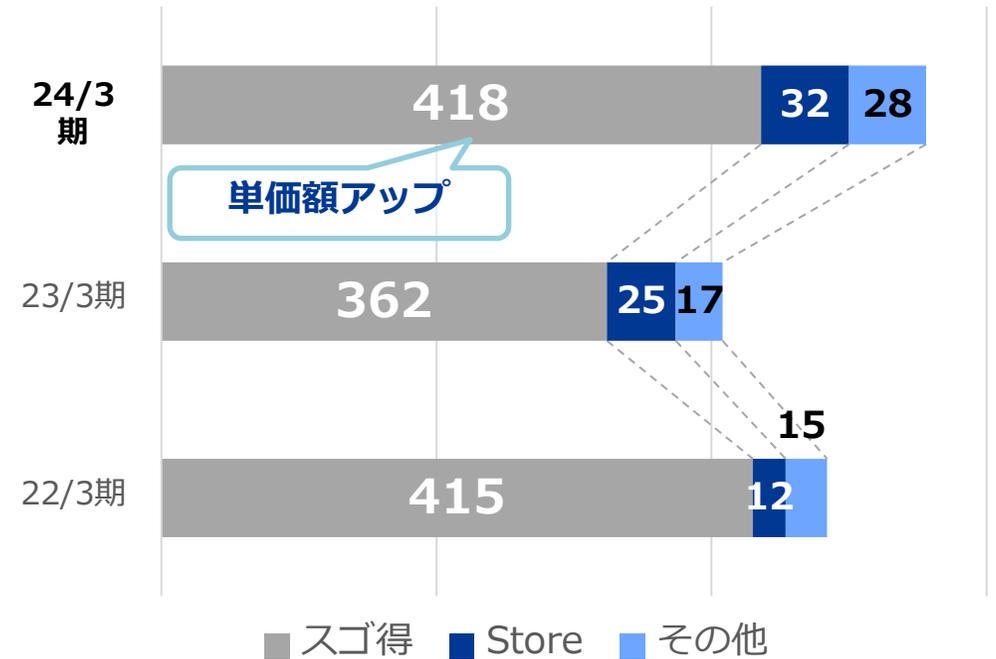
セグメント利益

(百万円)



売上高：分野別推移

(百万円)



連結貸借対照表 前期末比較

(百万円)		23/3期末	24/3期末	差異
資産の部	流動資産	2,825	3,245	+420
	固定資産	1,295	1,275	△20
	有形固定資産	122	108	△14
	無形固定資産	810	774	△36
	投資その他の資産	362	392	+30
合計		4,121	4,520	+399
負債の部	流動負債	1,501	1,759	+258
	固定負債	754	547	△207
合計		2,256	2,306	+50
純資産の部	資本剰余金	498	503	+5
	利益剰余金	1,005	1,344	+339
合計		1,865	2,214	+349
負債・純資産合計		4,121	4,520	+399

キャッシュフローの状況

(百万円)

	23/3期 実績	24/3期 実績	増減
営業活動によるCF (A)	△223	602	+825
税金等調整前四半期純利益	87	629	+542
減価償却費	115	66	△49
のれん償却費	38	79	+41
その他	△463	△172	+291
投資活動によるCF (B)	△439	△55	+384
フリーキャッシュフロー (A+B)	△662	547	+1,209
財務活動によるCF (C)	714	△410	△1,124
現金及び現金同等物の増減 (A+B+C)	52	137	+85
現金及び現金同等物の期末残高	1,031	1,168	+137

セグメント別四半期データ

(百万円)		2021/3期				2022/3期				2023/3期				2024/3期			
		1Q	2Q	3Q	4Q												
連結	売上高	933	1,021	967	1,157	1,094	1,064	1,091	1,432	1,203	1,334	1,360	1,966	1,439	1,720	1,774	2,214
	営業損益	△40	76	32	185	72	92	39	△14	△175	24	△47	303	△17	214	105	328
	利益率	△4.3%	7.5%	3.3%	16.1%	6.6%	8.7%	3.6%	△1.0%	△14.6%	1.9%	△3.5%	15.5%	△1.2%	12.4%	5.9%	14.8%
SS	売上高	661	634	595	720	718	642	649	825	812	889	893	1,210	931	1,115	1,145	1,304
	利益	81	104	84	160	129	113	103	182	135	177	150	234	128	267	258	320
	利益率	12.3%	16.5%	14.1%	22.3%	18.1%	17.6%	15.9%	22.1%	16.6%	19.9%	16.9%	19.4%	13.8%	24.0%	22.5%	24.5%
ES	売上高	218	315	298	341	270	316	340	499	290	341	369	661	403	492	516	784
	利益	22	90	77	93	45	78	61	176	25	53	67	253	62	100	29	243
	利益率	10.3%	28.7%	25.8%	27.3%	16.9%	24.9%	18.1%	35.3%	8.6%	15.6%	18.3%	38.4%	15.5%	20.4%	5.6%	31.0%
GPS	売上高	53	71	78	97	113	113	104	111	103	105	98	98	107	118	116	135
	利益	11	18	22	64	53	48	40	33	19	16	16	24	30	29	11	13
	利益率	21.1%	26.4%	29.0%	65.8%	46.8%	42.4%	39.1%	29.8%	19.0%	15.8%	16.7%	24.6%	28.6%	25.1%	10.0%	9.9%
調整額	売上高	0	0	△4	△2	△8	△7	△3	△4	△3	△1	0	△4	△3	△6	△4	△10
	利益	△155	△137	△151	△132	△156	△147	△165	△407	△355	△222	△281	△208	△239	△183	△193	△248

2025年3月期

業績予想および株主還元

2025年3月期 業績予想 (通期)

(百万円)	24年3月期 実績	構成比	25年3月期 業績予想	構成比	前期比 (%)
売上高	7,147	100.0%	8,500	100.0%	+1,352 +18.9 %
営業利益	629	8.8%	750	8.8%	+120 +19.2 %
経常利益	635	8.9%	730	8.6%	+94 +14.9 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	414	5.8%	426	5.0%	+11 +2.7 %

2025年3月期 業績予想 上期・下期

上期はコスト先行、下期は利益率改善

(百万円)	24年3月期 上期実績	構成比	25年3月期 上期業績予想	構成比 (前期比)	24年3月期 下期実績	構成比	25年3月期 下期業績予想	構成比 (前期比)
売上高	3,159	100.0%	4,000	100% (+841)	3,988	100.0%	4,500	100% (+512)
営業利益	196	6.2%	210	5.3% (+13)	433	10.9%	540	12.0% (+107)
経常利益	196	6.2%	200	5.0% (+3)	439	11.0%	530	11.7% (+91)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	119	3.8%	120	3.0% (+0)	294	7.4%	306	6.8% (+12)

株主還元

配当方針：中間配当および期末配当の年2回、2026年3月期までを目安として当面の間、連結配当性向50%程度を目途とする。

配 当

	中間配当	期末配当	合計
2024年3月期（予定）	10.0 円	14.50 円 (43.50円) ^{※1}	— (53.50) 円
2025年3月期（予想）	8.0 円	10.0 円	18.0 円

※1 2024年1月1日付けで、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。

1株当たり配当金は、2024年3月期の中間配当については当該株式分割前の金額を記載。

なお、（ ）に記載の1株当たり配当金は当該株式分割前に換算した値。

(参考) 株式分割

当社株式の投資単位当たり金額を引き下げ、投資家層の拡大と株式の流動性向上を図ることを目的に、株式分割を実施

2023年12月31日(実質的には 2023 年 12 月 29 日(金曜日))を基準日として、普通株式 1 株につき 3 株の割合をもって分割を実施。

分割の概要

株式分割前の発行済株式総数	3,886,900株
今回の分割により増加する株式数	7,773,800株
株式分割後の発行済株式総数	11,660,700株
株式分割後の発行可能株式総数	26,880,000株

日程

基準日公告日	2023年12月8日
基準日	2023年12月31日
効力発生日	2024年1月1日

報告セグメントの変更

2025年3月期第1四半期より、SS事業セグメントのうちERP事業をES事業セグメントに変更します。

現在

システムソリューション事業
(ERP事業含む)

エンジニアリング
ソリューション事業

GPS事業
※GPS= Global Positioning Solution



変更後

システムソリューション事業

エンジニアリング
ソリューション事業
(ERP事業含む)

GPS事業

中期経営計画 進捗状況

中期経営計画の全体像

経営目標

2026年3月期 売上高118億円、営業利益率20%

全体方針

ソリューションパートナーとしての真価の発揮

事業成長戦略

事業成長戦略 2

ものづくり領域での
DXソリューション強化

具体例:



(離散事象解析3Dシミュレーション)



(PLMソフトウェア)

(基本戦略)
高収益事業の
拡充

システム ソリューション事業

開発から製造までの
ワンストップ体制

事業成長戦略 1
事業領域のシフト
および拡大

エンジニアリング ソリューション事業

販売ネットワーク
SI・サポート力

GPS事業

ソフト・ハード
の技術・開発力
AI, IoT, センサーなどの
キーテクノロジー

自社特許技術

(Global Positioning Solution : 位置情報を活用したサービス)

事業成長戦略 3
プラットフォーム上の
サービス拡充

経営基盤戦略

1. 人材

戦略的事業推進の核となる人材の拡充・高度化

2. M&A・アライアンス

ビジョン実現に向けた機動的・積極的な実施

事業成長戦略（システムソリューション事業）

取組方針：事業領域のシフトおよび拡大

項目	内容	進捗状況
上流&製造・販売型へのシフトによる高付加価値化	<ul style="list-style-type: none">システム開発の上流工程および製造・販売型に重点をシフト	<ul style="list-style-type: none">ハードウェア開発の売上増
ERP領域への拡大	<ul style="list-style-type: none">グループ会社との連携強化	<ul style="list-style-type: none">SAP ジャパンと PartnerEdge エンゲージメント契約を締結「SAP S/4HANA, public edition」の取り扱い開始
自動車分野への拡大	<ul style="list-style-type: none">モビリティ開発で培った車載開発技術を他企業・他領域（ADAS、統合ECU 等）へ横展開	<ul style="list-style-type: none">当社の得意領域からの展開で車載案件の社数増加。

事業成長戦略（エンジニアリングソリューション事業）

取組方針：ものづくり領域でのDXソリューション強化

項目	内容	進捗状況
FlexSimの拡販推進	<ul style="list-style-type: none">FlexSim導入による製造現場、物流倉庫の全体最適化を推進	<ul style="list-style-type: none">積極提案により売上大幅増 ⇒2023/3月期から57.9%増
PLM事業の強化	<ul style="list-style-type: none">子会社と当社技術力を融合し戦力化実現ALMの展開で高付加価値化	<ul style="list-style-type: none">子会社2社(うち1社がPLM事業)の吸収合併完了2024/4にもう1社完全子会社化PLM/ALMの積極的提案
ラインナップの拡充	<ul style="list-style-type: none">自社技術を用いた新規ソリューション開発既存ソリューションへの自社技術の連携	<ul style="list-style-type: none">Mastercamにおけるカスタマイズ案件拡大Visual Components社とVC-OLPのリセラー契約を締結

事業成長戦略（GPS事業）

取組方針：プラットフォーム上のサービス拡充

項目	内容	進捗状況
サービスラインアップの拡充	<ul style="list-style-type: none">・ 自社プラットフォームを活用し、サービスラインナップを拡充し収益強化・ 法人・自治体向けサービス拡充・ みまもりサービス等の展開で社会的課題を解決・ その他ヒト・モノの位置情報を活用した製造物流向けサービスを展開	<ul style="list-style-type: none">・ ウェアラブル端末等から取得した生体データを活用したサービスの検討・ 「日常のみまもり」に特化したサービスのテストマーケティング実施・ 高さを加えた位置情報を利用した実証実験（浜松市）の実施
海外市場への展開	<ul style="list-style-type: none">・ 2024年以降海外へ展開（アジア、欧州、米州諸国で国際特許取得済み）	<ul style="list-style-type: none">・ 海外アプリ市場調査・ 競合（位置情報アプリ）の動向調査

経営基盤戦略（人材）

取組方針：戦略的事業推進の核となる人材の拡充・高度化

項目	内容	進捗状況
高付加価値な事業への人材シフト	<ul style="list-style-type: none"> PLM・ERPなど高付加価値事業へ人材をシフト 	<ul style="list-style-type: none"> PLM・ERPなど高付加価値事業の人数と全体に占める割合を向上 【2023年3月度末 48名/14% ⇒2024年3月度末 71名/19%】
領域拡大・付加価値向上に向けた人事制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値に見合う処遇を実現し、従業員のモチベーションアップ 事業領域を拡大し、戦略を推進のため重要な専門人材の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 新卒初任給の引上げ 【大卒：30万円(2024/4～)】 フレックスタイム制の全社導入 & 在宅・出社ハイブリッド勤務推進 【⇒採用増・退職減】
規模拡大に向けた採用強化	<ul style="list-style-type: none"> 新卒／中途の採用人数の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 新卒入社：2024/4入社 31名 全社人数：2024/4/1現在 413名
教育制度の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 高い成果発揮に向けて、研修プログラムやE-ラーニングを拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 幹部社員へのガバナンス・コンプライアンス研修等の実施増 無料 E-ラーニングのコンテンツ拡充

自動車産業におけるALMの可能性

ALMとは、Application Lifecycle Management の略称。ソフトウェアのライフサイクル（要件管理、開発、テスト、運用・保守など）を総合的に管理する手法です。

開発規模の拡大

車1台で使用されるソフトウェアの規模は、自動運転や安全装備の拡充にともないより拡大、開発コストも増大

プラットフォーム化

車1台に100個以上のマイコンが搭載されており、今後さらなる拡大と 統合化が加速

より複雑化・高度化するソフトウェア開発における課題

- 要件管理
- テストと品質保証
- バリエーション管理
- リリース管理
- リスク管理

ALMはソフトウェアの重要性が高まる自動車産業にて、これらのニーズに包括的に応える必要不可欠なソリューション

当社のポジション・強み

車載機器系でのソフトウェア開発実績

開発リソース（200名以上のエンジニア）

顧客チャネル（OEM/Tier1/サプライヤでの実績）

要素技術	実績	摘要
インフォテイメント	オーディオ、ナビ、10件超	ALMユーザ・開発者としての知見
統合HMI	統合ECU等のプラットフォーム	
車載IoT	クラウド系サービスアプリ	
品質設計	機能安全ISOガイドライン対応	ALMの付加価値の知見
サイバーセキュリティ	コンサルチーム	

PTCの製品力



世界市場：自動車・医療機器・防衛産業を中心に
拡大中

国内市場：自動車業界、グローバル展開する高付
加価値製品メーカー中心に今後拡大傾向

競合優位：PTC社Codebeamerが業界で先行

トピックス

ゼネテック---フラッシュシステムズの全株式を取得し、 子会社化(2024.4.22)

同株式取得により、PLM事業等においてシナジー効果を生み出すことを期待

概要

- ゼネテックは、企業価値の向上と事業成長に向けて、高付加価値なPLM事業を今後推進。
- フラッシュシステムズは、製造業向けの生産管理システムや制御システムなどのソフトウェア開発に携わり、同社が推進しているPLMソフトウェアであるPTCが提供する「Windchill (R)」に知見および技術を有する。
- 4月22日、フラッシュシステムズの全株式を取得し、子会社化することを発表



戦略的位置付け

- 本株式取得は、「Windchill®」の導入コンサルティング・運用支援を中心としたPLM事業を当社の成長ドライバーとする上で有用
- システム開発における技術・ノウハウ共有および当社グループ内での人材交流等を通じて早期にシナジー効果を生み出せる
- 加えて愛知エリアの開発拠点として新規案件獲得を狙う

詳細はこちらからご覧ください

<https://pdf.irpocket.com/C4492/Wgeh/FOeb/getV.pdf>

『ココダヨ』が内閣官房発行の「国土強靱化 民間の取組事例集」に先導的な事例として紹介(2024.4.12)

概要

- 『ココダヨ』が、内閣官房国土強靱化推進室が発行する「国土強靱化 民間の取組事例集（令和6年4月）」で先導的な事例として選定、同室のホームページで紹介されました。
- 「国土強靱化」とは、国が「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」という法律に基づき地震や津波、台風などの自然災害に強い国づくり・地域づくりを目指す取り組みのこと。



戦略的位置付け

- 「国土強靱化 民間の取組事例集（令和6年4月）」内閣官房が国土強靱化に関する取り組みを広める上で参考となる模範性、独自性、自主性のある民間の先導的な取り組みを収集した事例集。
- 国土強靱化 民間の取組事例集（令和6年4月）
※内閣官房国土強靱化推進室ホームページ

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/r6_minkan/index.html

日本テレビ「ZIP!」に防災対策スマートフォンアプリ『ココダヨ』が取り上げられました

概要

- 当社が提供する、スマートフォンアプリ『ココダヨ』が、5月1日（水）放送にされた日本テレビの朝の情報番組「ZIP!」に取り上げられました。
- 同番組の「街録ZIP!リアルレビュー」コーナーにて、「入れておいて良かったスマホアプリは？」という街頭インタビューで話題に上がり、ご紹介いただきました。



News Release (2023/10/1-2023/12/31)

日付	タイトル	URL
2023/10/4	ゼネテックが第47回技能五輪国際大会 日本代表選手選考会に技術協賛	https://www.genetec.co.jp/topics-231004/
2023/10/23	PTC 社の ALM ツール「Codebeamer™」 取扱い開始のお知らせ 大規模化するソフトウェアの開発から運用までを一元管理	https://www.genetec.co.jp/topics-231023-1/
2023/10/23	製造現場の生産性・品質向上を支えるロボット導入を大きく加速 次世代ロボットオフラインティーチングソフト 販売開始のお知らせ	https://www.genetec.co.jp/topics-231023-2/
2023/11/8	ゼネテックが3期連続で「FlexSim」の売上世界第一位を受賞 FlexSim社よりベストアワードを連続受賞	https://www.genetec.co.jp/topics-231108/
2023/11/14	ゼネテック、 SAPジャパン とPartnerEdgeエンゲージメント契約を締結	https://www.genetec.co.jp/topics-231114/

News Release (2024/1/1-2024/4/30)

日付	タイトル	URL
2024/1/29	ゼネテックが国立研究開発法人情報通信研究機構と共同で特許出願	https://www.genetec.co.jp/topics-240129/
2024/1/31	新卒初任給を30万円へ引き上げ (業界トップレベルの水準へ改定)	https://www.genetec.co.jp/topics-240131/
2024/2/28	ゼネテックが野村総合研究所に物流倉庫 DX コンサルティングを支援するエンジニアリングソリューションを提供開始	https://pdf.irpocket.com/C4492/KNIO/LMjk/aro7.pdf
2024/4/12	スマートフォンアプリ『ココダヨ』が内閣官房発行の「国土強靱化 民間の取組事例集」に先導的な事例として紹介	https://pdf.irpocket.com/C4492/Wgeh/h4Dg/S2QF.pdf
2024/4/22	株式会社 フラッシュシステムズの全株式を取得し、子会社化	https://pdf.irpocket.com/C4492/Wgeh/FOeb/getV.pdf

Appendix

ゼネテックの長期ビジョン

デジタルテクノロジーで、人と地球にやさしい未来をつくる。

当面 重点的に取り組む社会的課題

- 産業**
 - ✓ 製造業の競争力の低下
 - ✓ サプライチェーンの崩壊
 - ✓ 製造・運送業などの人手不足
 - ✓ 基幹システムの老朽化
- 環境**
 - ✓ 温室効果ガスによる気候変動
- 生活**
 - ✓ 異常気象・自然災害への不安
 - ✓ 一人暮らしの増加



ゼネテックの強み

目指す姿

-  日本を元気にする
ものづくりの復活
-  地球にやさしい
脱炭素の実現
-  人にやさしい
安心・安全な暮らしの実現

 **技術力**
創業以来40年間 組込システム開発で培った、ソフト・ハード両側面の高い技術と製造現場の知見

 **開発力**
要素技術やプロダクトを組み合わせ、新しいソリューションを生み出す力

 **顧客基盤**
お客様の期待に応え続けることで構築した、約5,000社を誇る顧客数・自社サービス継続利用率98%

 **販売ネットワーク**
当社のソリューションをより多くのお客様に届けるための、約600社の販売代理店ネットワーク

製造業DXを支えるソリューションとノウハウ

技術・開発力に裏打ちされたソリューションで、社会的課題の解決に挑戦し、実現します。

実現すること

日本のものづくりの復活・脱炭素の実現

安心・安全な暮らしの実現

生み出す効果

品質向上

付加価値向上

生産性向上

安全性向上

もたらす革新

デジタル化社会を支える
高難度な装置開発

モビリティ変革を支える
自動車の高性能化

AV/IoT/エクス機器
の高機能化

製品情報の一元管理

高性能な製品の
設計・製造

設備全体の
モニタリング

経営情報の一元管理

作業者の
安全管理

製造・物流現場の
最適化

物流の
リアルタイム追跡

サービス施設の
最適化

災害時位置情報の
自動通知

取組むDX領域

製品開発

製造/物流

暮らし・個人

当社が持つソリューション

半導体製造
装置開発

自動車
関連開発

AV/IoT/エクス
開発

PLM

3D
CAD/CAM

IoT

ERP

デジタルツイン&
3Dシミュレーション

位置情報
サービス

ソフトウェア開発×ハードウェア開発×AI

SDGs : 持続可能な社会の実現への貢献

事業活動・企業活動を通じて、持続可能な社会の実現、企業価値の最大化を目指します

事業を通じた社会貢献

対応Goal	寄与項目	当社事業・商材
    	E 環境 製造業の生産性向上 生産ラインや物流倉庫における劇的な生産性向上を、FlexSimをはじめさまざまなサービスで実現 日本のGDPの約20%、CO2排出量の約35%を占める製造業のDXを推進し、 生産コスト・CO2排出量削減 に寄与	   など

S 社会

人々の安心・安全な暮らしを実現

 	自社特許技術 による位置情報受信アプリ「ココダヨ」の提供により、 災害時、見守り時の安否確認、健康状況の把握 に寄与	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 内閣官房発行の「国土強靱化民間の取組事例集」に先導的な事例として紹介 </div>
---	--	--

企業活動を通じた社会貢献

対応Goal	施策項目
  	若手技術者・起業家の育成 ビジネスコンテスト「ゼネテックDXチャレンジ」を隔年実施予定 その他、起業家支援策にも取組予定。 若手技術者・起業家の育成・成長を支援
 	教育・研修制度 幅広い研修制度で、エンジニアの技術習得をバックアップ。エンジニアの成長を通じて、社会の発展に寄与
	福利厚生制度 各種資格取得報奨金制度や語学研修、社内サークル活動の支援、住宅手当・保養所活用などを通して、社員の働きやすい環境づくりを推進
	G ガバナンス 公正な事業への取り組み リスクマネジメント、コンプライアンスを徹底

会社概要

会社名	株式会社ゼネテック
本社所在地	東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー25F
代表者	代表取締役社長 上野 憲二
設立日	1985年7月1日
決算月	3月
資本金	3億7,052万円（2024年3月末日現在）
役員	代表取締役社長 社長執行役員 上野 憲二 取締役 副社長執行役員 松野 知愛 取締役 常務執行役員 鈴木 章浩 取締役（監査等委員） 八戸 雅利 社外取締役（監査等委員） 田中 俊平 社外取締役（監査等委員） 水谷 翠 社外取締役（監査等委員） 白上 博能
従業員数（連結）	413名（2024年4月1日現在）

会計監査法人	太陽有限責任監査法人
子会社	株式会社バート ログイン株式会社 株式会社フラッシュシステムズ
拠点	本社・新宿事業所・新横浜事業所 名古屋事業所・大阪事業所・新大阪事業所 広島事業所・福岡事業所
事業内容	■システムソリューション事業 ソフトウェア/ハードウェアシステム開発事業 ■エンジニアリングソリューション事業 3次元CAD/CAMシステム/ 3Dシミュレーションソフト/ 製品ライフサイクルマネジメントソフト等販売・ ソリューション提供事業 ERP導入支援 ■GPS事業 防災用アプリケーション提供事業
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にもかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

IRに関するお問合せ先 **:** **IR@genetec.co.jp**